



紫雲会東京

令和6年(2024年)

第18号

〒104-0061 東京都中央区銀座6-3-9 高松商事(株)内 紫雲会東京支部事務局 ☎03(5568)3320

発行元 紫雲会東京支部

令和6年度東京支部 総会のご案内

7月6日(土)12:00~開始 [受付は11:00より開始]

場所	品川プリンスホテル (東京都港区高輪4-10-30) 会場:品川プリンスホテルメインタワー15階 トパーズ15
会費	一律10,000円 学生・20歳までは無料招待

お問合せ先 03-5820-9123 全日警ビルサービス内 紫雲会東京総会事務局



今年はまた総会の会場が変更になっております。

会費納入のお願い

皆様、会費のお振込を御願ひ致します。

紫雲会東京支部の 歩みと母校との絆

名譽支部長
安西 愈 (昭32年卒)



紫雲会東京支部
は、昭和10年頃、
鈴木祥枝
（第1回卒、東京海上火災社
長）、松本昇（第1回卒、資生
堂社長）、鎌田正明（第2回
卒、東京商工中金理事長）の
3名が中心となり、高松商
業の同窓会を発足させ、岡
内英夫氏などが事務にあた
った（母校百周年誌）。

その後、戦争中の中断期
間はあるものの今日まで99
年間続いている。その間の
歴代支部長は、次のとおり
である。初代鈴木祥枝（明治
36年卒）、2代鎌田正明氏
（明治38年卒）、3代岡内英
夫氏（大正15年卒）、4代伊
丹宏文氏（昭和12年卒）、5
代溝渕利幸氏（昭28年卒）、
6代安西愈氏（昭32年卒）、
7代北条勇氏（昭39年卒）、
8代堀真英氏（昭54年卒）
と継続してきた。

先輩の負担に頼る運営から
「会員による会員のための
同窓会」をスローガンに大
改革に着手し、榎本恵一
部長代行（昭32年卒）を中心
に、会則、資金、組織、業務内
容、会費制など今日の時代
にマッチした改革を進め、
印刷業の楠昭次郎氏（昭35
年卒）の協力を得て、「紫雲
会東京」という機関誌を平
成19年に発刊し、今日まで
17号を数えている。

また、平成25年の東京支
部創立80周年記念大会は、
お台場のビックサイト西館
で305名の参加を得て盛
大に行なった。

母校との関係では、杉ノ
内義春（昭28年卒）の応援団
長の下、全国大会出場の際
の歓迎会や応援は欠かさ
ず、また募金にも協力し、
雨天練習場の建設が募金不
足で県の許可がピンチの時
大阪支部と共同で募金額
の半分を頑張つて達成する
など精一杯協力してきた。

生徒は、教師のことを忘
れても教師は生徒を忘れな
い。私は在学中野球の若宮
誠一先生とは会話したこと
がなかったが、先生の逝去
後、奥様の節子さんから手
紙をいただいた。「主人は
あなたが病弱（在学中結核
で休学）なのに、東京に
行つて大丈夫だろうかとよ
く気にかけて話していたの
でお手紙しました。」との
ことであつた。私は涙なし
には読めなかった。母校と
の絆である。

昨年、90周年記念総会を、
今までお世話になつていた
「サンミ高松」から、新たな
会場で開催しましたが、「サ
ンミ高松」溝渕利幸会長か
ら会場の紹介と立派な料理
を準備頂くなど大変お世話
になりました。

そして、支部役員の活躍
で盛大に記念総会を終える
ことが出来ました。

また、支部長就任した年
の秋に母校野球部が「第46
回明治神宮野球大会」で初
優勝を飾り、翌年の「第88
回全国選抜高校野球大会」
で55年振りに準優勝を目の
当たりにすることが出来た
ことは素晴らしい思い出
になりました。

支部会員並びに役員の皆
様をはじめ、同期の方々の
ご支援、ご協力を頂き、支
部長を続けることが出来ま
した、特に同期で前常任理
事会議長の池田政廣君が支
部活動を支えてくれたこと
には感謝しかありません。

新たに堀真英さん（昭和54
年卒）に8代目支部長をバト
ンタッチし、新支部長のも
と、東京支部が更なる発展
されることを願ひ、退任の挨拶とさせていただきます。

令和5年度および6年度

東京支部収支・予算報告／活動報告・計画

● 紫雲会東京支部 ● 令和5年度 収支報告書

期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日 単位：円

収入		支出	
前年度繰越	2,985,859	総会費用	2,211,437
総会会費	671,000	食事@9,900×120名	1,188,000
男@8,000×69名	552,000	人件費	82,500
女@7,000×17名	119,000	会場費	688,600
お祝金	48,000	出演料	100,000
		雑費	132,337
		表彰	20,000
役員年会費	322,000	総会案内会報発送費返信はがき他	366,826
一般会費	510,000	事務消耗品・通信費	46,727
会報賛助金・広告費	211,000	旅費交通費	222,016
賛助金		慶弔	20,000
@5,000×18名	90,000	振込負担金	40,922
@3,000×7名	21,000	会議費補助	57,050
企業広告	100,000	役員会	
		常任理事会	55,950
		年次幹事会	
		各委員会	1,100
		委員会補助金	
本部補助金	300,000	年次幹事委員会同期会補助金	
寄付金	48,000	会報発行費17号紙	457,380
90周年積立から	400,000	ホームページ更新委託費 新規スマホ用	77,000
四国新聞	4,000	事務局費	50,000
利息	17	四国新聞	55,000
		母校活動支援	30,000
		予備費	
当年度収入合計(2,514,017)		当年度支出合計(3,634,358)	
計	5,499,876	次年度繰越	1,865,518
		計	5,499,876

* 役員会・常任理事会・年次幹事会の出席者は、会議費の全額個人負担
* 各委員会の出席者は、会議費の全額個人負担 * 会報は賛助金のみ

令和
5年度

東京支部活動報告

- 4月 90周年記念総会に向けた事前参加人数調査アンケート
運動部238名、文化部130名 計338名へ事前に往復はがきによる調査
返信 あり 251名（出席44名、欠席207名）
返信 無し 87名
- 交流委員会
7日 第16回ゴルフ大会（四街道ゴルフクラブ）
15日 年次幹事委員会 90周年記念総会に向けた動員打合せ（京橋プラザ）
- 5月 9日 90周年記念総会会場にて打合せ（銀座フェニックスプラザ）
20日 90周年記念総会打合せ（京橋プラザ）
- 6月 1日 紫雲会会報17号発行
3日 90周年記念総会委員会メンバー12名にて打合せ 総会出欠ハガキ発送（浜町にて）
10日 紫雲会大阪支部総会出席
29日 90周年記念総会会場にて打合せ（銀座フェニックスプラザ）
- 7月 1日 90周年記念総会委員会打合せ 招待客等の名札ケース作成・式次第等打合せ
8日 90周年記念総会 招待客合わせて120名（銀座フェニックスプラザ）
- 9月23日 紫雲会高松本部総会出席
- 10月 4日 第17回ゴルフ大会（C P Gカントリークラブ）
28日 常任理事会に向けた打合せ（浜町にて）
- 11月12日 香川県人会開催（東京プリンスホテル）
18日 常任理事会 それぞれの委員会のメンバー選出と引継ぎについて（堀留町区民館）
- 2月29日 高松商業高校紫雲会入会式
3月16日 東京支部常任理事会

● 紫雲会東京支部 ● 令和6年度 収支予算書

期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日 単位：円

収入		支出	
前年度繰越	1,865,518	総会費用	1,490,000
総会会費	1,000,000	食事@12,000×120名	1,440,000
男@ 10,000× 75名			
女@ 10,000× 25名		会場費（看板代）	50,000
お祝金	30,000		
		雑費	
		表彰	20,000
役員年会費	320,000	総会案内会報発送費返信はがき他	250,000
一般会費	600,000	事務消耗品・通信費	50,000
会報賛助金・広告費	100,000	旅費交通費	175,000
賛助金		慶弔	40,000
@ × 名		振込負担金	50,000
@ × 名		会議費補助	
		役員会	
企業広告	260,000	常任理事会	40,000
		年次幹事会	24,000
		各委員会	
		委員会補助金	55,000
本部補助金	300,000	年次幹事委員会同期会補助金	55,000
		会報発行費18号紙	400,000
		ホームページ更新委託費	70,000
		事務局費	50,000
		母校活動支援	300,000
		予備費	100,000
当年度収入合計(2,610,000)		当年度支出合計(3,114,000)	
計	4,475,518	次年度繰越	1,361,518
		計	4,475,518

* 役員会・常任理事会・年次幹事会の出席者は、会議費半額を紫雲会が負担 * 各委員会の出席者は、会議費の全額個人負担（但し、年次幹事委員会は2000円/人を紫雲会が負担） * 会報は賛助金のみ

令和
6年度

東京支部活動予定

- 4月 年次幹事委員会 総会関係打合せ、役員就任・退任確認
5日 第18回ゴルフ大会（四街道ゴルフクラブ）
- 5月 年次幹事会 会報校正、総会案内状発送準備
県人会理事会出席
- 6月 総会委員会メンバー会議 総会出席者確認、司会者・式次第確認
- 8日 紫雲会大阪支部総会出席
- 7月 総会委員会メンバー会議 総会直前打ち合わせ
- 6日 東京支部総会
- 9月23日 紫雲会高松本部総会出席
- 10月18日 第19回ゴルフ大会（C P Gカントリークラブ）
- 11月 常任理事会・オリブ会旅行計画
- 4日 香川県人会出席
- 1月 会報委員会、表彰委員会
- 2月 総務委員会 次年度予算案作成
- 3月 東京支部常任理事会
卒業式出席、紫雲会入会式

東京支部会の収支報告や活動内容は、紫雲会東京支部の公式ホームページで詳しくご覧いただけます。

紫雲会東京ホームページ
siunkai-tokyo.org

紫雲会 東京支部

Q 検索

スマホで
スキャン！

紫雲会会長挨拶

紫雲会会長
岡 義博 〔昭43年卒〕

ご挨拶



紫雲会
東京支部
の皆様におかれて

は日々ご活躍のこととお慶び申し上げます。皆様には日頃から紫雲会の活動について格別なご支援を頂き誠に有難うございます。

東京支部は設立から90年を超えて活動を続けられています。90年前と言えど戦前の事であり、古くから高商の先輩方が首都圏で活躍されていたことを示すものです。この間日本の社会には大きな変動がありました。首都東京における変動は非常に大きかったと思います。そのような変動の中で今日まで東京支部の活動が続いているのは、ひとえに役員の皆様方や会員の皆様方の母校愛によるものと思います。卒業して何年経っても母校への思いは変わらないと思います。昨年ヨット部が世界選べましたが、スペインへ

の遠征の費用が高額というものでした。そこで、卒業したばかりのヨット部OBが東京支部の総会に出席し寄付のお願いをしたところ、会員の皆様から多額の寄付が寄せられました。これも母校愛の表れだと思います。誠にありがとうございます。

今後とも生徒たちが大会で東京方面に来ることがあるとありますが、そのような折には、引き続き応援に駆けつけるなどのご支援をお願いしたいと存じます。今後とも母校へのご支援、紫雲会へのご協力を頂ければ幸いです。

最後になりましたが、東京支部の今後の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝ご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

紫雲会 大阪支部長挨拶

紫雲会大阪支部長
外山 公一 〔昭50年卒〕

ご挨拶



紫雲会
東京支部
の皆様におかれま

しては、益々ご清栄のこ

とお慶び申し上げます。一昨年6月、創立70周年記念の定時総会で支部長となり早2年を迎えようとしております。皆様

が楽しみにしている野球部の甲子園出場ですが、昨年春の選抜野球大会以来2023年夏・2024年春の出場が果たせていない中で、今年の夏の甲子園出場には是非とも出場を決めてほしいと願っております。

紫雲会総会において、野球部の甲子園出場の有無は本部・東京支部、大阪支部の総会への参加率に大きく左右する要因であると感じております。

特に大阪支部は毎年6月開催、東京支部は7月開催と夏の甲子園の出場の期待があればあるほど参加率も上がるものと思

いますので、そういう意味で今年の春の大会の結果が気になるところですが、何としてでも優勝してほしいと懇願しています。

あと、何度か話をさせて頂いておりますが、毎年総会への参加者が減少している中で何とかして歯止めをかけるべく対策を講じてゆく必要があると考えております。今年

は対策の第一弾として、今年関西へ進学・就職する卒業生に対し5月に歓迎ランチ会を実施致しますが、卒業前に歓迎ランチ会の案内を実施し、卒業式の日に出欠の確認を取りましたが、100名の対象者に対し49名からの返答があり、残念ながら参加希望者は8名でした。

欠席の理由は、進学してから

の予定がわからないので返答できない、部活で行けない、予定がある等の返答がありまして、また白紙回答の方も

ありました。昨年は、卒業生に総会の案内をして出席者は0

でした。それから考えますと8名が歓迎ランチ会に参加して頂けるのは一歩前進と考えています。

今後の対策として、予定が未定の方はもちろんのこと、予定があるまたは白紙回答の方にも4月に案内をして、参加者増を目指したいと思

います。最終、何名の参加者になったかにつきましては、東京支部総会で発表したいと思

います。最終参加人数はまだ未確定ですが、6月に開催する総会への導線とした

校長挨拶

高松商業高等学校
校長 山本 主税

ご挨拶



東京紫雲会

の皆様、高松商業高等学校の教育活動にひとかたならぬご理解とご支援を賜っております。心から感謝申し上げます。

さて、この3月1日に令和5年度の卒業生を送り出すことができました。新型コロナウイルスの影響で、入学当初からの2年間を数多くの制約を受けながらの高校生活を強いられた生徒たちでしたが、特に最終学年となった令和5年度は、学校の内外のあらゆる活動が多少の配慮はあったものの、全てコ

前と同等に開催することができ、彼らはそれまでのハンディも全く感じさせない活躍ぶりです。充実した日々を駆け抜けてく

れました。総勢299名の卒業生のうち、約30名ほどが故郷を離れ首都圏に次の進路を定めていま

す。かつて比べ関西や西日本志向が強まっている県下の高校の進路傾向としては、本校は関東に進む生徒が多いのではな

いかと感じています。卒業式の前日の同窓会入会式には、東京紫雲会より

支部長の堀 眞英様にもご臨席賜り、あたたかい激励のことばを頂戴いた

しました。感謝申し上げます。ととともに、新天地での彼らの前途もまたご支援いただければと、諸先輩にお願

学校だより

事務局から
紫雲会事務局
谷畑 祐二(昭和61年卒)



東京支部の皆様方には、日頃より大変お世話になります。厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスがようやく終息の兆しが見えはじめたかと思うと、代わりにインフルエンザが猛威をふるうという1年間はありました。が、学校としては体育祭、文化祭、修学旅行、アメリカへのホームステイの実施など、徐々にコロナ前に戻ってきた感があります。同窓会関係行事についても理事・評議員会や総会なども盛大に行われ、学校に活気が戻ってきたように思われます。

さて、令和4年に完成した南体育館のこけら落としが令和5年度9月23日の紫雲会総会前に盛大に行われました。高商女子ハンドボール部対香川銀行ハンドボール部(シラソル)の記念試合は、接戦となりましたが昨年

より日本リーグ参戦中の香川銀行に軍配があたりました。また、東京支部から安西顧問、池田顧問、堀支部長も遠方よりご来校、ご観覧いただき、大変感謝いたしております。



卒業式前日の2月29日には紫雲会入会式が行われました。岡会長へ代表生徒が宣誓書を読み上げた後、今年は何年かぶりに堀東京支部長、外山大阪支部長も参加され、299名の卒業生を前に各支部の取り組みや各支部総会への参加など、熱心に呼びかけられておられました。



令和5年度も多くの部活動が活躍をみせ、インターハイは運動部団体個人を含め、8競技出場、文化部は7つの部が競技大会や全国総文祭出展など、飛躍の年になりました。

特に、ヨット部は男女コンバインド3位、男女420級5位、7位、柔道部は男女とも個人5位入賞、さらにはバドミントン女子個人でベスト8、陸上は男子棒高跳で8位入賞、珠算・電卓部は応用計算個人で優勝、電卓団体競技3位など、輝かしい成績を収めました。また、新人大会はサッカー、バレーボール、バ

ドミントン、剣道、ソフト、ハンドボール女子、ヨット、柔道、卓球男子が優勝を勝ちとりました。この結果をうけて、5つの競技が3月に各県で開催される全国選抜大会などに出場します。

令和6年度の紫雲会総会ですが、9月23日(月)正午からホテルパールガーデンでの開催予定です。是非、多くの方々のご参加をお待ちしております。

最後になりますが、紫雲会東京支部の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げるとともに今後のご発展を祈念し、はなはだ簡単ではありますが近況報告とさせていただきます。今後とも高松商業高校紫雲会にご支援・ご協力の程、よろしくお願いたします。

東京讃岐会館の思い出

思い出
香川県東京事務所長
森岡 英司



かつて東京都港区三田には、「讃岐会館」と

いう香川県の宿泊施設がありました(2020年閉館)。

現在のようにビジネスホテルが多くない時代には、香川県民が上京する際の宿は、まずは讃岐会館と考えるほど、県民にとっては身近な施設でした。

国の予算編成時期には、会館内に作戦本部を置いて何日も泊まり込んだり、国の職員との懇談の場として利用したり、正に香川県の大使館としての役割を果たしていました。

また、敷地内には東京都内に勤務している県職員のための住宅もあり、東京出張の際には、同僚を訪ね部屋で飲み明かしたのもいい思い出です。そのほか、郷土の若手演奏家のためのコンサートを開催したり、県産食材を使ったメニューや本場の讃岐うどんを提供したりするなど、県民や県出身者が集い、交流する場としても幅広く利用されてきました。長く親しまれてきた讃岐会館でしたが、建物が老朽化し、耐震基準や建築基準法の用途制限のため、宿泊事業を継続することが困難にな



なってきました。

このような時期に出てきたのが、讃岐会館を含む三田小山町西地区再開発事業の計画でした。県としては、この再開発に参加し、完成した建物の中で1300㎡程度確保したスペースを、これまで讃岐会館が担っていた県民や県出身者の交流や情報発信の拠点機能を継承できるよう、飲食店、イベントスペース、オフィス・ビジネススペース等として活用する予定にしています。

現在、再開発事業は順調に進んでいて、12階建てだった讃岐会館本館もすっかり解体されてしまっていました。

再開発事業の竣工は2028年の予定で、まだ少し先になりますが、新しく生まれ変わる「讃岐会館」を楽しみにお待ちしております。

後輩達の活躍
を応援しよう



紫雲会東京では、関東地域開催の全国大会出場チーム、選手へお祝い金(3万円)を贈呈して激励をしております。

各部活動の先輩方も声を掛け合って応援に駆けつけ、盛り上げてください。

下記それぞれの部活別東京支部在籍数をご連絡致します。是非部活別での懇親を希望します。尚、個人情報に関係からお名前、等の問い合わせは事務局 堀まで問い合わせください。

部活動 TOPICS 今年の部活動のトピックス

第46回全国高等学校柔道選手権大会 日本武道館 出場おめでとう!



大会には、男子の部では中村 祥太郎選手、大谷 田輝選手、女子の部では芳田 美羽選手、佐久間 絵葉選手がそれぞれ出場しました。

東京支部 文化部・運動部OB、OG在籍数 ※括弧内は人数

速記(11)図書(2)プラスバンド(10)放送(3)ユネスコ(3)理学(1) ESS(1)英・カナ・和タイプ(13)音楽(1)絵画美術(3)家政(2)ギター(3)経済調査(3)購買(1)英・語学(4)国際(5)茶道(1)写真(3)珠算(18)書道(5)新聞(5)生物(4)速記(1)陸上(15)野球(89)応援(6)弓道(5)剣道(12)サッカー(17)柔道(5)水泳(6)ソフトボール(4)体操(1)卓球(8)テニス(16)登山(3)バスケットボール(11)バドミントン(3) バレーボール(9)ハンドボール(3)ボクシング(1)ヨット(6)

令和6年度
会報補助金提供者(敬称略)

【賛助金】

北條 勇	昭46年卒	1万円
萬納 宏俊	昭45年卒	6千円
関 邦義	昭43年卒	5千円
中山 ツ子	昭43年卒	5千円
齋藤 昭	昭43年卒	5千円
池大 正	昭43年卒	5千円
入谷 裕	昭43年卒	5千円
西木 茂雄	昭43年卒	5千円
串田 裕司	昭43年卒	5千円
藤川 和信	昭43年卒	5千円
前田 裕弘	昭43年卒	5千円
堀 眞英	昭43年卒	5千円
福光 文典	昭43年卒	5千円
塚本 初江	昭43年卒	5千円
須田 賢二	昭43年卒	3千円
太田 郁治郎	昭43年卒	3千円
【寄付金】		
安西 美恵	昭43年卒	4万円
茨木 愈	昭43年卒	8千円
【法被協賛】		
溝渕 利幸	昭43年卒	2万円
安西 愈	昭43年卒	2万円
楠 昭次郎	昭43年卒	2万円
秋山 典久	昭43年卒	2万円
堀 眞英	昭43年卒	2万円

一般年会費納入者

2228名

みなさまのご協力
ありがとうございました。

事務局便り

物故者

高橋 正泰様(昭40年卒)
藤谷 博様(昭49年卒)

謹んでお悔やみ
申し上げます

令和5年度

第17回ゴルフ大会のご報告

10月4日(水)CPGカントリークラブ

優勝……………藤川 和信(昭46年卒)
準優勝……………堀 眞英(昭54年卒)
3位……………太田 政輝(昭40年卒)
ベストグロス賞…太田 政輝(昭40年卒)



令和6年度

第18回ゴルフ大会のご報告

4月5日(金)四街道ゴルフ倶楽部

優勝……………久保 文典(昭45年卒)
準優勝……………北條 勇(昭39年卒)
3位……………池下 高広(昭57年卒)
ベストグロス賞…北條 勇(昭39年卒)

今回は残念ながら、秋晴れの好天で小雨が降る中、スタートルフ目し、下の5ホール目、雨もあがり、開催されたことを感謝申し上げます。最近、若手の活躍が目立っており、参加者も、旧来の参加者も、強烈な刺激を受けて、今回は旧来の参加者である、藤川和信さんが2度目の優勝を果たしました。2位は堀眞英支部長、3位は太田政輝さんでした。B・Gも3位の太田さんでした。

今回は参加者が12名と少ない人数の開催となりましたが、最近の大会は若手の活躍が目立っており、参加者である、久保文典さんが2度目の優勝を果たしました。2位は北條勇名誉支部長、3位は若手の池下高広さんでした。B・Gは2位の北條勇名誉支部長で

女性のご参加大歓迎！若手会員の皆様もご参加ください。皆様のご参加をお待ちしております。

第19回ゴルフ大会のご案内

令和6年10月18日(金)CPGカントリークラブ
朝9時(スタートアウト/9時27分~7組)

千葉県市原市川在974 TEL 0436-36-1251
クラブバスJR五井駅東口 8時30分
(バス利用は事前予約が必要です。)

申込み先 幹事 尾崎行雄(昭49年卒)
締切り 令和6年9月9日(月)





紫雲会東京支部創立90周年記念総会

令和5年7月8日(土)銀座フェニックスプラザ 東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館



東京支部総会が令和5年7月8日12時から銀座の銀座フェニックスプラザにおいて開催されました。

総会には来賓の皆様(紫雲会本部、大阪支部、学校等から)を含めおよそ120名の参加をいただきました。

総会では役員人事、予算、活動計画等新年度の方針が決定されました。



紫雲会東京支部
前支部長 北條 勇
新支部長 堀 眞英

役員人事で新支部長には、昭和54年卒の堀眞英氏が選ばれ新役員もあわせて決定しました。

懇親会に移り来賓の皆様を含め同期生、先輩、後輩との再会で大いに盛り上がりました。今回はイベントとして、

①高松一高出身の西浦詩織さんのヴァイオリン演奏会

②元NHK高校野球解説者の大矢正成氏の高校野球界の現状解説と山口富士雄高商倶楽部会長、52年前のベスト4メンバー大北敏博氏らを交えた甲子園談義で話は尽きず予定時間を延長するほどでした。

談義の前には46年前の映像や88回春の選抜甲子園大会決勝戦の映像をはじめ昨年夏、今年春の大会等での活躍状況を懐かしく視聴しました。

90周年記念ということから早くから準備を進めていただきながら度重なる変更にも拘わらず対応をいただいたスタッフの皆さんに御礼申し上げます。



高松駅 駅ホーム



松山線全通の新聞記事



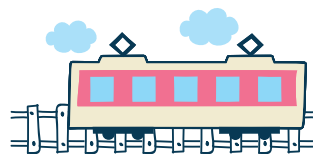
券売機登場



高松駅 バス停



駅前花時計



高松駅 写真で辿る故郷の今昔 (JR四国様提供)



高松駅 駅舎



現在のJR高松駅&駅ビル(オルネ)



現在のJR高松駅北側



現在の屋島



現在の高松港&サンポートアリーナ



現在の花時計



現在の高松駅(改札口)



現在の玉藻城



現在建設中の徳島文理大学(高松駅を上から撮影)

ご協賛いただいた、文化部・運動部のご紹介・ご案内ができるスペースです。
個人・団体は問いません。掲載したい内容がある方はお気軽に「紫雲会東京支部事務局」までお問い合わせください。



紫雲会東京支部総会開催おめでとうございます

高商倶楽部 東京支部 (高松商業高校野球部OB) / 関東地区在住者 一同

昭28卒 杉ノ内 義春
昭28卒 藤原 弘
昭28卒 若宮 修三
昭31卒 宇田川 四郎
昭31卒 山田 二郎
昭31卒 佃 昭幸
昭32卒 谷本 清彦
昭34卒 石川 陽造
昭35卒 岡田 行正
昭35卒 中井 公士
昭39卒 横山 征一
昭39卒 北條 勇
昭40卒 山口 智三
昭41卒 小河 利行
昭41卒 小坂 敏彦
昭42卒 大北 友博
昭43卒 上村 俊夫
昭44卒 宮崎 泰敬

昭46卒 大北 敏博
昭46卒 増田 祐一
昭47卒 戸田 文隆
昭47卒 西川 敦仁
昭48卒 和木 和夫
昭49卒 藤谷 博
昭50卒 富川 正徳
昭52卒 橋川 慎司
昭54卒 北 信康
昭54卒 工 晋
昭54卒 堀 眞英
昭54卒 松本 仁志
昭55卒 岡 真二
昭56卒 熊田 年陽
昭56卒 須田 賢二
昭56卒 福光 徹
昭57卒 大森 卓二
昭57卒 熊田 智行

昭57卒 山川 明俊
昭57卒 石田 万盛
昭58卒 網谷 竜一
昭58卒 三嶋 俊人
昭58卒 松下 幸大
昭58卒 森 利治
昭59卒 森本 敬介
昭60卒 鈴木 総一
昭60卒 中村 一矢
昭61卒 大森 剛
昭62卒 木村 範行
昭62卒 岩田 智明
昭62卒 香川 真志
昭62卒 岡野 高幸
昭63卒 谷本 健一
平01卒 竹原 章裕
平03卒 杉山 忍
平04卒 大林 謙二

平04卒 結城 元
平05卒 山崎 剛
平05卒 吉田 剛
平05卒 池田 宜生
平05卒 野崎 順平
平05卒 大林 恵美
平06卒 小川 敏弘
平07卒 岡本 三世
平07卒 久保田 亜紀
平08卒 吉田 成良
平08卒 吉村 周平
平09卒 河野 雅也
平09卒 溝渕 隆夫
平10卒 諏訪 浩二
平10卒 立岩 直樹
平12卒 緒方 義人
平13卒 太田 智之
平15卒 富田 祐輔

平20卒 小林 健輔
平21卒 辰亥 央将
平21卒 瀬戸 祐太郎
平21卒 井上 将司
平21卒 中山 雄介
平22卒 中原 大輝
平22卒 中井 玄貴
平25卒 植草 亮健
平29卒 米麦 圭造
平29卒 植田 響介
平29卒 浦 大輝
平29卒 荒内 俊輔
平30卒 向井 久人
平30卒 植田 理久都
令03卒 笠居 小史郎
令04卒 坂中 大貴
令04卒 山崎 悠矢
—— 計89名 ——

私が高松商業で過ごした3年間は、野球を中心とした毎日でした。昭和44年に甲子園に出たいとの思いで、栃木県から夢と希望を胸に、連絡船に乗り高松に入った日の事を今でも鮮明に覚えています。

高商に入社してから高商会館に寄宿し、野球部では若宮先生、岡田監督、秋からは久保監督の指導を頂き、2年の春、夏に甲子園

今回は、高商野球部昭和45年夏の甲子園ベスト4、個人打撃成績木製バットで6打席連続安打記録保持者。卒業後早稲田大学進学、神宮で活躍された西川敦仁さんより高校時代の思い出などコメントを頂きました。

文化部・運動部 学生時代の思い出

西川 敦仁 [昭47年卒]



出場を果たしました。特に夏は大北先輩をはじめ、全員の力を結集して、PL準決勝まで勝ち進み、高商の力を全国に示す事ができました。当時は勝つ為に厳しい規律と練習に明け暮れ、無我夢中で走り抜けました。当時を振り返ると野球部での指導は人間の育成を基に、社会に出て役立つ、正に理に適ったものでありました。

安西法律事務所

弁護士 安西 愈
(昭和32年卒)

〒104-0061
東京都中央区銀座3丁目4番地1号 大倉別館3階
TEL 03-3563-3225-7 FAX 03-3561-2446

株式会社キャリアファインド



代表取締役
山崎 剛 (平成5年卒)

〒105-0014 東京都港区芝1丁目4番1号 芝コパヤシビル6階
TEL 03-3454-1610 FAX 03-5730-1118
携帯 090-6344-0001 E-mail yamasaki@careerfind.co.jp
URL <https://www.careerfind.co.jp/>

で克服しチームと大会で完成させ、商業部に百年高商の歴史を築き、その中で多くの先輩が活躍し、その功績を後継者に引き継ぎ、感謝するばかりです。



紫雲会 東京支部

香川県立高松商業高等学校同窓会

支部長 堀 眞英 (昭和54年卒)
株式会社全日警ビルサービス 代表取締役社長

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町1丁目1番12号
(プラザANSビル7階)
TEL 03-5820-9123(代) FAX 03-5820-9124
携帯 090-3253-5397 E-mail m-hori@zennikkei-bs.co.jp
URL <http://www.zennikkei-bs.co.jp>



税理士
秋山 典久
(昭和52年卒)

—— サッカー部OB ——



高商倶楽部東京 集え!OB,OG達!

事務局

須田 賢二 (昭和56年卒)
携帯 090-4918-6698

三嶋 俊人 (昭和58年卒)
携帯 080-4097-0422